

# ユーザーレポート

# User Report

ユーザーレポート

— 0の証明 —

社会福祉法人よい子の広場

## 自らアルコール検査することで、安全運転への取り組みを意識する。

当法人は、昭和45年4月保育園事業から事業を開始しました。姫路市内において福祉の三本柱である高齢者事業、障害者事業、児童福祉事業を行っております。乳幼児や学童から障害児・者、そして高齢者まで幅広く支援する社会福祉法人です。法人理念「わたしたちはなびとに対しても、人としての尊厳を認め、家庭や地域の中で、その人らしい自立した生活が送れるよう支援します」のもとに、職員一同取り組んでまいります。

### ご利用機器

- ALC-PRO II
- ALC-Mobile II



### 導入のきっかけ

## アルコールチェック義務化に向け検討を開始

アルコールチェック義務化に向けて、令和4年1月ごろから法人内で導入に向けて検討を開始しました。当初は、職員一人一人に携帯型のアルコールチェック機を配布する、各事業所毎に検査記録を自動記録させる機器を導入する、というようなことを検討していましたが決定には至りませんでした。

そこで業務取引のあった神姫バス様に相談したところ、アルコールチェックの実施方法、実施機器、導入状況などの見学をさせていただき、東海電子をご紹介いただきました。

当法人は、姫路市内に7拠点あり、拠点間の情報集約をどうするかが課題でした。何回も担当営業の方と打ち合わせを行い、こちらのやりたいことや実施環境について詳細な検討を重ねました。親身な対応に感謝しております。拠点情報の確認として、アルコール検査の結果を本部で把握する方法を検討した結果、法人本部にALC-PRO IIを設置し、各拠点においてALC-Mobile IIを使用して検査をする方法を採用することにしました。簡易な操作性、他社にはない連携性、記録の自動化が導入の決め手となりました。



### 製品導入による 効果・感想

## 職員全体の飲酒に対する意識が高まった

導入後、職員一人一人がアルコールチェックがあるため、前日の深酒をしない、飲みすぎた場合は公共機関を使って通勤する、というような意識改革が見られるようになりました。また、アルコールチェックにひっかかった職員は、前日の飲酒量、職務への影響などを確認し、仕事に対する姿勢を見直すきっかけともなっています。検知されると法人本部で警報が鳴り、各拠点へ名指しで指導が入るため、各拠点においてもお互いに気をつけよう、という雰囲気広がっています。さらに、飲酒に気を付けることによって、毎年の健康診断の数値がよくなった、という声も聞こえています。



### 今後の展望

## 運転手の高齢化に伴う対策等、安全運転への取り組みを広げる

社会福祉施設として、利用者様の送迎は必須業務です。職員に対して安全運転については日ごろから指導をしていましたが、アルコールチェック機器導入により、実際に職員本人が検査を行うことで、安全運転への意識の高まりがみられます。まずはできることから、という姿勢でALC-PRO IIを導入し、アルコールチェックをきっかけに各事業所でも安全運転への取り組みが広がっています。

今後は運転手の高齢化にともなう安全運転への取り組み、全車へのドライブレコーダーの設置などをすすめ、安全安心な運行業務に取り組んでまいります。

### 取材ご協力

社会福祉法人よい子の広場福祉会

事務長 田藤 龍太郎 様



住所：〒671-2201 兵庫県姫路市書写634-198  
TEL：079-267-8501